

交流をテーマに 地域づくりに取り 組んでいます

福島県地域づくり

総合支援事業（サポート事業）

の活用事例

都市との交流事業

福島県では、住民が主役の個性と魅力ある地域づくりの推進に寄与することを目的とする助成事業を実施しています。

本年度、小野町においては、2つの団体が助成事業を活用して、地域の特色を活かした交流事業に取り組んでいます。

それぞれの地域の宝を生かした魅力ある地域づくりを支援する「地域づくり総合支援事業」。

あなたも地域の魅力を育ててみませんか。

今回は、これまでに行われた事業についてお知らせします。

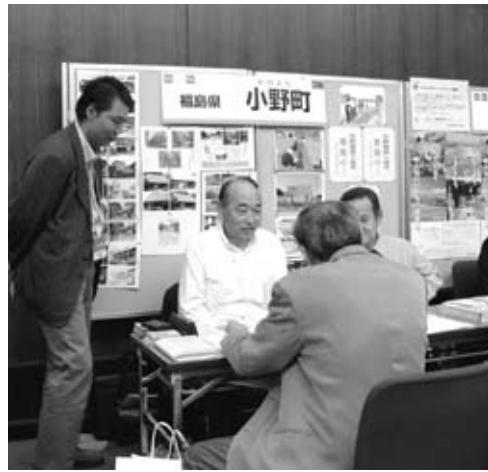
小野町ふるさと暮らし支援センター（渡辺直忠理事長）では、平成16年度より福島県の助成を受け、都市との交流事業を行っています。

本年度は、俳優の菅原文太氏を講師に迎えての地域づくり講演会の開催、田舎暮らし体験ツアーを行っています。

9月に行われた田舎暮らし体験ツアーには、首都圏などから多くの参加があり、収穫体験や豆腐づくり、移住者との懇談会といった多様な企画は、参加者からも好評で、中には定住を決意した方もいたようです。



初めての豆腐づくりに参加者は興味津々



多くの方から相談を受けました

10月14日に東京都大手町で開催された、ふるさと回帰フェア2006では、自治体相談コーナーに参加し、来場された田舎暮らし志望の方などに、小野町の魅力を紹介しました。

プログラムの一つ「ふるさと暮らし実践リレートーク」に、支援センター副理事長の杉岡直人さんが参加し、定住実践者の一人として発表を行いました。

福島県水環境活動団体 交流事業

福島県水環境活動団体交流会（高橋宗彦代表世話人）は、福島県で水環境に関する活動を行なっている団体が緩やかに連携し、交流することにより、各団体の活動のさらなる発展に寄与することを目的に活動を行っています。

本年度は、9月30日に郡山市熱海町を会場に交流会が行われ、夏井川友の会をはじめ、県内各地から多くの団体や個人の参加がありました。

交流会では「川の授業」と題して、福島県の取り組み、学校における環境学習、河川と生物の関わりについて説明や報告が行われ、創作民話をはさんでの後半では、県内の各団体における事例発表と意見交換が行われ交流を深めました。



子どもたちの発表は大人も顔負け